

26

午前の部

試験問題	試験時間
1～105	10時00分～12時40分

● 指示があるまで開かないこと。

〈注意事項〉

1. 問題の数

試験問題は1～105まで105問である。

2. 受験地、受験番号、氏名の記入方法

注意事項を読み終わったら、まず受験地、受験番号、氏名を文字と数字で記入する。次に答案用紙右側の受験地、受験番号の該当する○をマークする(塗りつぶす)。なお、記入にあたっては次の例を参考のこと。

(例) 受験地・東京都、受験番号・00027、氏名・栄養花子の場合

午前

受験地	東京都	受験番号	0	0	0	2	7
氏名	栄養花子						

受験地	北海道	宮城県	東京都	愛知県	大阪府	岡山県	福岡県	沖縄県			
	○	○	●	○	○	○	○	○			
受験番号	万	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	千	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	百	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	拾	①	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	壹	①	①	②	③	④	⑤	⑥	●	⑧	⑨

3. 解答方法

解答方法は次のとおりである。

- (1) (例1)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例1)の質問には2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例1)

201 管理栄養士の名称を用いて業務を開始できると定められている日である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 合格発表日
- (2) 合格証書受領日
- (3) 管理栄養士免許申請日
- (4) 管理栄養士名簿登録日
- (5) 免許証受領日

正しい答えは、「(4) 管理栄養士名簿登録日」であるから答案用紙の問題番号201の④をマークすればよい。

201	①	②	③	④	⑤
			↓		
201	①	②	③	●	⑤

- (2) (例2)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを2つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例2)の質問には1つ又は3つ以上マークした場合は誤りとする。

(例2)

202 管理栄養士名簿の登録事項に変更が生じた場合、訂正が必要なものである。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 氏名
- (2) 住所地
- (3) 本籍地都道府県名(日本の国籍を有しない者については、その国籍)
- (4) 勤務地
- (5) 出身校の所在地

正しい答えは、「(1) 氏名」「(3) 本籍地都道府県名」であるから答案用紙の問題番号 202 の①、③をマークすればよい。

202	①	②	③	④	⑤
202	●	②	●	④	⑤

4. その他の注意事項

(1) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し濃くマークすること、○の外にはみ出さないように注意すること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… 

(解答にならない。)

(2) 答えを修正した場合は必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにはならないから注意すること。

(3) 答案用紙は折り曲げたりメモ等で汚したりしないよう特に注意すること。

1 疾病対策と一次・二次・三次予防に関する組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 新生児マススクリーニング ————— 一次予防
- (2) 肺炎球菌ワクチン接種 ————— 一次予防
- (3) 心筋梗塞後のリハビリテーション —— 二次予防
- (4) 腎不全患者に対する人工透析 ————— 二次予防
- (5) 生活環境改善 ————— 三次予防

2 わが国の公衆衛生・予防医学の歴史に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 初めて種痘が行われたのは、明治時代である。
- (2) 国民皆保険制度が導入されたのは、大正時代である。
- (3) 初めて「衛生」という言葉が用いられたのは、第二次世界大戦後である。
- (4) 結核による死亡が激減したのは、昭和 20 年代である。
- (5) 初めて保健所ができたのは、昭和 40 年代である。

3 食品が放射能汚染を受けた場合に、食品 1 kg 当たりに含まれる放射能を表す単位である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) Gy(グレイ)
- (2) Sv(シーベルト)
- (3) Bq(ベクレル)
- (4) rad(ラド)
- (5) rem(レム)

- 4 水道法に基づく水質基準に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 生物化学的酸素要求量(BOD)についての基準値が定められている。
 - (2) pHについての基準値が定められている。
 - (3) 一般細菌は、「検出されないこと」となっている。
 - (4) 水銀は、「検出されないこと」となっている。
 - (5) トリハロメタンは、「検出されないこと」となっている。
- 5 健康、疾病、行動に関わる統計資料である。全数を対象としたものとして、正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 人口動態統計
 - (2) 国民生活基礎調査
 - (3) 患者調査
 - (4) 国民健康・栄養調査
 - (5) 学校保健統計調査
- 6 直接法による年齢調整死亡率に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 集団によらず、粗死亡率は年齢調整死亡率よりも高い。
 - (2) 観察集団の年齢階級別死亡率が必要である。
 - (3) 基準集団の年齢階級別死亡率が必要である。
 - (4) 標準化死亡比として算出する。
 - (5) 人口規模の小さな集団に適した方法である。

7 あるコホート集団において、肺がんによる死亡を5年間追跡調査した結果を、下表に示す。肺がんに対する曝露 A の寄与危険(10万人年対)である。正しいのはどれか。1つ選べ。

		観察人年	肺がんによる死亡数(人)
曝露 A	あり	20,000	200
	なし	30,000	150

- (1) 1.5
 (2) 2.0
 (3) 50
 (4) 100
 (5) 500
- 8 調べたい事柄と疫学の方法との組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 特定保健用食品の効果 ————— 地域相関研究
 (2) 新型インフルエンザの罹患率 ————— 横断研究
 (3) 腸管出血性大腸菌食中毒の原因食品 ———— コホート研究
 (4) 悪性中皮腫と石綿曝露との関連 ————— 症例対照研究
 (5) 放射性物質の健康影響 ————— ランダム化比較対照試験(RCT)
- 9 健康の「生物心理社会モデル」に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。
- (1) 疾病の病因の解明を優先する考え方である。
 (2) WHO 憲章の健康の定義と共通性がある。
 (3) 病気のみを診るのではなく、病人を診る、という視点が根底にある。
 (4) 救命・疾患治療の医学の考え方を、さらに発展させたものである。
 (5) 対象者のニーズを把握するために、有用である。

- 10 高齢者の身体活動・運動に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。
- (1) 国民健康・栄養調査では、運動習慣のある者の割合は、20歳代に比べて低い。
 - (2) 健康日本21では、「日常の歩行速度の向上」を目標に掲げている。
 - (3) 最大酸素摂取量は、年代が進むほど高くなる。
 - (4) 介護予防事業の中に、運動器の機能向上がある。
 - (5) 買い物や散歩などの外出は、健康維持のために有用である。
- 11 たばこ対策に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。
- (1) 健康増進法に、受動喫煙の防止に関する規定がある。
 - (2) 未成年者喫煙禁止法は、明治時代に制定された。
 - (3) タールは、発がんの原因物質である。
 - (4) ニコチン依存症管理は、医療保険の適用外である。
 - (5) 禁煙補助剤は、一般用医薬品に含まれる。
- 12 歯科保健活動とその目的の組合せである。誤っているのはどれか。1つ選べ。
- (1) 3歳児歯科健康診査 ————— 不正咬合の予防
 - (2) 禁煙 ————— 永久歯喪失の予防
 - (3) 甘味飲食物の過剰摂取の制限 ———— う歯の予防
 - (4) フッ化物歯面塗布 ————— 歯周病の予防
 - (5) 介護予防事業 ————— 口腔機能低下の予防
- 13 悪性新生物とそのリスク因子の組合せである。誤っているのはどれか。1つ選べ。
- (1) 喉頭がん ———— アルコール
 - (2) 乳がん ————— 肥満
 - (3) 胃がん ————— 高塩分食品
 - (4) 肝がん ————— アフラトキシン
 - (5) 大腸がん ———— ノロウイルス

14 2000年以降、女性において年齢調整死亡率が増加している疾患である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 胃がん
- (2) 乳がん
- (3) 子宮がん
- (4) 脳血管疾患
- (5) 心疾患

15 DOTS(Directly Observed Treatment, Short Course)を用いて、対策を行っている感染症である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 重症急性呼吸器症候群(SARS)
- (2) 後天性免疫不全症候群(AIDS)
- (3) C型肝炎
- (4) マラリア
- (5) 結核

16 わが国の医療制度に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 自営業者は、国民健康保険に加入する。
- (2) 被用者保険においては、事業主が保険料を全額負担する。
- (3) 医療機関受診の際に、被保険者は医療費の全額を支払う。
- (4) 一人当たりの国民医療費は、減少傾向にある。
- (5) 診療所とは、病床を持たない医療施設を指す。

17 地域保健行政に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 保健所の管轄人口は、法律で10万人以内と定められている。
- (2) 保健所には、2人以上の管理栄養士の配置が規定されている。
- (3) 保健所の根拠法令は、地域保健法である。
- (4) 市町村保健センターは、保健所の指示の下に業務を行う。
- (5) 食品の監視は、市町村保健センターの業務である。

18 健やか親子 21 における乳幼児突然死症候群の予防対策である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 仰向け寝の推進
- (2) 母乳栄養の推進
- (3) 母親の禁煙
- (4) 父親の禁煙
- (5) 父親の禁酒

19 特定保健指導に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 65歳以上の対象者を優先して、積極的支援を行う。
- (2) 指導を行うのは、保健師または管理栄養士に限られる。
- (3) 禁煙指導は含まない。
- (4) 腹囲が基準値を超えない者は、指導の対象とはならない。
- (5) 高齢者の医療の確保に関する法律により規定されている。

20 介護保険制度に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 介護保険の保険者は、国である。
- (2) 介護保険料は、20歳から負担する。
- (3) 要介護2の方が要支援2より、多くの介護が必要とみなされる。
- (4) 要介護認定は、介護支援専門員が行う。
- (5) 介護保険は、予防給付には適用されない。

21 ヒトの細胞に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) リソソームでは、ATPの合成が行われる。
- (2) 細胞膜のリン脂質は、親水性部分が向き合って二重層をつくる。
- (3) ゴルジ体では、遺伝情報の転写が行われる。
- (4) 滑面小胞体では、脂質の代謝が行われる。
- (5) 細胞内液の Na^+ 濃度は、細胞外液より高い。

- 22 染色体・核酸に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) クロマチンには、たんぱく質は含まれない。
 - (2) 細胞内の RNA で量が最も少ないのは、リボソーム RNA (rRNA) である。
 - (3) DNA リガーゼは、DNA 中の特定塩基配列を切断する。
 - (4) DNA と伝令 RNA (mRNA) の塩基対形成を、DNA の変性と呼ぶ。
 - (5) ポリメラーゼ連鎖反応 (PCR) 法には、DNA ポリメラーゼが用いられる。
- 23 生体エネルギーと代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 脱共役たんぱく質 (UCP) は、酸化リン酸化を促進する。
 - (2) Na^+ , K^+ -ATPase は、 K^+ を細胞外へ排出する。
 - (3) 摂取した水分子の酸素原子は、呼気中の二酸化炭素分子には含まれない。
 - (4) 代謝過程で生じた熱は、身体活動のためのエネルギー源として利用することができる。
 - (5) 脂肪酸の β 酸化経路には、中間代謝物と酸素分子が反応する過程はない。
- 24 酵素に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) アポ酵素は、補欠分子族を含む。
 - (2) 律速酵素は、代謝経路で最も速い反応を触媒する。
 - (3) アイソザイムは、同じアミノ酸配列をもつ。
 - (4) 化学反応の活性化エネルギーは、酵素によって低下する。
 - (5) 競合阻害では、酵素反応の最大速度 (V_{\max}) は低下する。

25 アミノ酸・たんぱく質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) オートファジー (autophagy) は、たんぱく質を合成する作用である。
- (2) アラニンは、アミノ基転移反応によりオキサロ酢酸になる。
- (3) アスパラギン酸は、ケト原性アミノ酸である。
- (4) プロテインキナーゼは、たんぱく質分解酵素である。
- (5) 尿素回路は、肝臓に存在する。

26 糖質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ヘキソキナーゼは、糖新生系の律速酵素である。
- (2) 肝臓には、グルコース-6-ホスファターゼが存在する。
- (3) グリコーゲンが加リン酸分解されると、グルコースが生成する。
- (4) ペントースリン酸回路は、尿素回路の側路である。
- (5) グルカゴンは、グリコーゲン合成を促進する。

27 脂質とその代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) HDL の粒子径は、キロミクロンより大きい。
- (2) 肝臓の LDL 受容体は、HMG-CoA 還元酵素の阻害に伴って減少する。
- (3) インスリンは、リポたんぱく質リパーゼ活性を低下させる。
- (4) リポたんぱく質のコア部分は、リン脂質からなる。
- (5) スカベンジャー受容体は、酸化 LDL を結合する。

28 健常成人の血液検査項目と、その数値及び単位の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 動脈血の pH ————— 7.1
- (2) 動脈血の酸素飽和度 —— 48%
- (3) 空腹時血糖値 ————— 96 g/L
- (4) 血漿の浸透圧 ————— 284 mOsm/L
- (5) 血漿総たんぱく質値 —— 4.3 g/L

- 29 がんに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) p53 は、がん遺伝子の一つである。
 - (2) がん細胞が腹膜にばらまかれる進展様式を播種という。
 - (3) A 型肝炎ウイルスは、肝細胞がん発症と密接な関係がある。
 - (4) 原発性肺がんの大部分は、移行上皮がんである。
 - (5) 腸上皮化生は、直腸がんの前がん状態である。
- 30 症候に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 浮腫は、血漿膠質浸透圧の上昇により生じる。
 - (2) タール便は、直腸における出血でみられる。
 - (3) 仮面高血圧は、診察室血圧が高血圧である。
 - (4) JCS(Japan Coma Scale)は、心機能の指標である。
 - (5) 起坐呼吸は、呼吸を楽にするために座位をとる状態である。
- 31 治療の方法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 経腸栄養法は、イレウスに行う。
 - (2) 生体肝移植は、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)に行う。
 - (3) 血液透析は、糖尿病腎症第3期 A に行う。
 - (4) LDL アフェレーシスは、家族性高コレステロール血症に行う。
 - (5) 白血球(顆粒球)除去療法は、過敏性腸症候群に行う。
- 32 ビタミンとその欠乏症の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) ビタミン E ————— 神経管閉鎖障害
 - (2) ビタミン K ————— 新生児メレナ
 - (3) ビタミン B₁₂ ————— 角膜乾燥症
 - (4) 葉酸 ————— 悪性貧血
 - (5) パントテン酸 ————— ペラグラ

- 33 先天性代謝異常症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) フェニルケトン尿症では、血中のフェニルアラニンが減少する。
 - (2) ホモシスチン尿症では、血中のチロシンが減少する。
 - (3) メープルシロップ尿症では、血中のロイシンが増加する。
 - (4) ウィルソン病では、血中のセルロプラスミンが増加する。
 - (5) 糖尿病Ⅰ型では、血中のグルコースが増加する。
- 34 誤嚥に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。
- (1) 誤嚥の検査には、DEXA法を用いる。
 - (2) 高齢者には、不顕性誤嚥がみられる。
 - (3) 嚥下物の喉頭侵入では、異常音(ゴロゴロ音)が聴こえる。
 - (4) 経鼻胃管挿入状態は、誤嚥性肺炎のリスクになる。
 - (5) 誤嚥性肺炎の防止には、口腔ケアが有用である。
- 35 非代償期肝硬変患者における臨床検査成績である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 血小板数増加
 - (2) 血清 γ グロブリン低値
 - (3) 血清総ビリルビン低値
 - (4) プロトロンビン時間(PT)延長
 - (5) 血清乳酸脱水素酵素(LD または LDH)低値
- 36 血圧調節に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 血圧の上昇により圧受容体が刺激されると、心拍数は低下する。
 - (2) 動脈血圧は、心拍出量と末梢血管抵抗の和であらわされる。
 - (3) 血液粘性が高いと、血圧は低下する。
 - (4) 副交感神経刺激で、心拍出量は増加する。
 - (5) 心臓への流入血液量が増えると、心収縮力は低下する。

37 高血圧の病型分類とその原因疾患・病態の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 腎実質性高血圧 —— クッシング症候群
- (2) 内分泌性高血圧 —— 慢性糸球体腎炎
- (3) 本態性高血圧 —— 褐色細胞腫
- (4) 腎血管性高血圧 —— 原発性アルドステロン症
- (5) 収縮期高血圧 —— 大動脈の硬化

38 健常成人の腎機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 腎血漿流量は、500~700 mL/分である。
- (2) 糸球体濾過量(GFR)は、約 10 mL/分である。
- (3) 尿量は、約 300 mL/日である。
- (4) 尿比重は、1.10 以上に調節されている。
- (5) 尿の pH は、 7.40 ± 0.05 の範囲に調節されている。

39 骨吸収を促進するホルモンである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アドレナリン
- (2) エストロゲン
- (3) カルシトニン
- (4) 副甲状腺ホルモン(PTH)
- (5) プロゲステロン

40 内分泌に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 原発性アルドステロン症では、高カリウム血症が起こる。
- (2) ヨウ素欠乏は、甲状腺機能亢進症の原因となる。
- (3) 尿崩症では、低ナトリウム血症が見られる。
- (4) 循環血液量の減少は、アルドステロンの分泌を抑制する。
- (5) 新生児の甲状腺機能低下症では、脳の発達障害が起こる。

41 健常成人の脳における代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脳は、グリコーゲンを貯蔵する。
- (2) たんぱく質は、血液脳関門を自由に通過できる。
- (3) 脳では、ATPのほとんどがグルコースに由来する。
- (4) 脳は、安静時において全身で使われるグルコースの約2%を使用する。
- (5) 脳は、1日当たり約1,000 kcalのエネルギーを消費する。

42 体内における空気の成分の比較である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | | |
|--|---|--|
| (1) 肺胞内の窒素分圧 | > | 肺胞内の酸素分圧 |
| (2) 大動脈血の血漿中に溶解している酸素の量 | > | 大動脈血のヘモグロビンに結合している酸素の量 |
| (3) 大動脈血に炭酸(H_2CO_3)の形で存在している二酸化炭素の量 | > | 大動脈血に重炭酸イオン(HCO_3^-)の形で存在している二酸化炭素の量 |
| (4) 肺静脈血の二酸化炭素分圧 | > | 肺動脈血の二酸化炭素分圧 |
| (5) 門脈血の酸素分圧 | > | 肝動脈血の酸素分圧 |

43 慢性閉塞性肺疾患(COPD)に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 女性に多い。
- (2) 痰を伴わない咳が特徴である。
- (3) 1秒率が増加する。
- (4) 除脂肪体重(LBM)は増加する。
- (5) インフルエンザワクチンの接種は死亡率を低下させる。

44 骨・関節疾患に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) クッシング症候群では、骨折のリスクが低い。
- (2) 閉経後骨粗鬆症では、骨吸収が低下する。
- (3) 慢性腎不全は、骨粗鬆症の原因となる。
- (4) 低体重では、変形性膝関節症のリスクが高い。
- (5) 小児期のビタミンD欠乏では、くる病が起こる。

- 45 生殖器とその内分泌機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) セルトリ細胞は、テストステロンを分泌する。
 - (2) ライディヒ細胞は、精子形成細胞を保持・保護する。
 - (3) 黄体形成ホルモン(LH)は、セルトリ細胞を刺激する。
 - (4) 子宮筋腫は、閉経後に好発する。
 - (5) 子宮内膜症は、エストロゲン依存性である。
- 46 ビタミンK 依存性凝固因子である。正しいのはどれか。2つ選べ。
- (1) 第Ⅴ因子
 - (2) 第Ⅶ因子
 - (3) 第Ⅷ因子
 - (4) 第Ⅹ因子
 - (5) 第Ⅻ因子
- 47 貧血とその血液検査所見に関する組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 鉄欠乏性貧血 —— 不飽和鉄結合能(UIBC)低値
 - (2) 溶血性貧血 —— ハプトグロビン低値
 - (3) 再生不良性貧血 —— 葉酸低値
 - (4) 巨赤芽球性貧血 —— ビタミン B₁₂ 高値
 - (5) 腎性貧血 —— エリスロポエチン高値
- 48 スギ花粉症のアレルギー発症機序の分類である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) I 型
 - (2) II 型
 - (3) III 型
 - (4) IV 型
 - (5) V 型

49 自己免疫疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 全身性エリテマトーデスは、日光浴で寛解する。
- (2) 強皮症では、食道蠕動が低下する。
- (3) 橋本病では、皮膚が湿潤になる。
- (4) シェーグレン症候群では、唾液分泌が増加する。
- (5) 関節リウマチは、成人になると治癒する。

50 病原体とそれによる疾患の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ヒトパピローマウイルス ————— 子宮体がん
- (2) マイコプラズマ ————— 肺炎
- (3) ヘリコバクター・ピロリ ————— 膵臓がん
- (4) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) —— 成人 T 細胞白血病
- (5) A 群 β 溶血性連鎖球菌 ————— 胃潰瘍

51 大豆とその加工品に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 大豆に含まれる主要たんぱく質は、グルテニンである。
- (2) 湯葉は、大豆たんぱく質を凍結変性させたものである。
- (3) 浜納豆は、納豆菌を用いて製造する。
- (4) 大豆油に含まれる多価不飽和脂肪酸は、n-3系が多い。
- (5) 大豆レシチンは、乳化剤として利用される。

52 卵の成分に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) オボムコイドは、ゆで加熱により凝固する。
- (2) 卵黄の脂質は、トリアシルグリセロールが主成分である。
- (3) 卵白の鉄含量は、卵黄より多い。
- (4) 卵黄は、卵白よりアレルギーを起こしやすい。
- (5) 全卵のコレステロール含量は、牛肉(脂身つき)と同程度である。

53 嗜好飲料に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 果汁 100% の果実飲料は、JAS 規格では果実ジュースという。
- (2) コーラには、カフェインが含まれない。
- (3) ココアの苦味成分は、テアニンである。
- (4) ウーロン茶のタンニン量は、紅茶に比べて多い。
- (5) 緑茶は、茶葉を発酵させて作る。

54 ビタミン A に関する記述である。 に入る正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

体内に吸収されてビタミン A としての効力を示す a には、ビタミンとしての効力が最も大きい b や、その半分の効力を示す c がある。

- | a | b | c |
|------------|-------------|-------------|
| (1) フラボノイド | β-クリプトキサンチン | α-カロテン |
| (2) フラボノイド | β-カロテン | β-クリプトキサンチン |
| (3) カロテノイド | α-カロテン | β-クリプトキサンチン |
| (4) カロテノイド | α-カロテン | β-カロテン |
| (5) カロテノイド | β-カロテン | α-カロテン |

55 食品コロイドに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 卵白は、親水コロイドである。
- (2) 加熱した寒天は、冷やすとゾルに変化する。
- (3) ショートニングは、窒素ガスが分散したコロイドである。
- (4) クリームからバターを作るとき、エマルションは O/W 型から W/O 型に移る。
- (5) ヨーグルトは、たんぱく質が酸で凝固した沈殿ゲルである。

- 56 食物繊維に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) エネルギー値は、日本食品標準成分表 2010 では 0 kcal とみなされている。
 - (2) キチンは、動物より植物に多く含まれる。
 - (3) 水溶性食物繊維は、コレステロールの吸収抑制作用を示す。
 - (4) レジスタントスターチは、セルロースからなる。
 - (5) ペクチンは、紅藻類に多く含まれる。
- 57 特定保健用食品の関与成分とその作用に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) カゼインホスホペプチドは、カルシウム吸収を促進する作用がある。
 - (2) キシリトールは、血中の中性脂肪値を低下させる作用がある。
 - (3) アラビノースは、血中のコレステロール値を低下させる作用がある。
 - (4) ラクトペプチドは、抗う蝕作用がある。
 - (5) キシロオリゴ糖は、血圧を低下させる作用がある。
- 58 トランス型不飽和脂肪酸に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 食用油を高温加熱しても、生成しない。
 - (2) 食用油の水素添加の過程で生成する。
 - (3) コーデックス(Codex)委員会では、共役トランス型結合を1個以上持つ不飽和脂肪酸と定義している。
 - (4) わが国では、栄養成分表示が義務化されている。
 - (5) 自然界には、存在しない。

- 59 カンピロバクターとそれによる食中毒に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 夏期より冬期に多発する食中毒である。
 - (2) 菌が産生した腸管毒素によって発症する。
 - (3) 潜伏期は、2～5日である。
 - (4) 畜肉類に比べて、魚介類による発症例が多い。
 - (5) 耐熱性であり、加熱調理した食品中でも生き残る。
- 60 自然毒による食中毒に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) イシナギの肝臓を多量に摂取すると、ビタミンE過剰症が起こる。
 - (2) フグ毒のテトロドトキシンは、加熱することで無毒化される。
 - (3) オゴノリ中毒の原因物質は、ソラニンである。
 - (4) ツキヨタケ中毒の原因物質は、セスキテルペンである。
 - (5) パイ貝毒は、青酸配糖体である。
- 61 牛海綿状脳症(BSE)に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) BSEに罹患した牛からヒトへ感染する可能性はない。
 - (2) 肋骨は、BSEの病因物質が蓄積する部位(特定部位)である。
 - (3) 口蹄疫ウイルスがBSEの病因物質である。
 - (4) 調理加熱でBSEの病因物質は、不活性化されない。
 - (5) 12か月齢以下の牛の特定部位は、除去が義務づけられている。
- 62 放射性物質に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。
- (1) ストロンチウム90は、放射性物質である。
 - (2) 放射性物質の中には、1年以上の物理的半減期を持つものがある。
 - (3) ヨウ素131は、生体中で甲状腺機能障害の原因となる。
 - (4) セシウム137は、ばれいしょの発芽防止のために用いられる。
 - (5) わが国では、輸入食品にセシウム134と137の合計値による規制値が設定されている。

- 63 食品添加物に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 「既存添加物名簿」には、化学合成した添加物が記載されている。
 - (2) L-アスコルビン酸を酸化防止剤として使用する場合は、使用基準がない。
 - (3) *dl*- α -トコフェロールは、栄養強化の目的で使用することができる。
 - (4) β -カロテンを着色料の目的で使用する場合は、用途名併記の必要はない。
 - (5) イマザリルを防カビ剤として使用する場合は、使用基準がない。
- 64 食品衛生管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 総合衛生管理製造過程の承認は、内閣総理大臣が行う。
 - (2) 総合衛生管理製造過程には、HACCPシステムが組み込まれている。
 - (3) HACCPシステムでは、管理基準から逸脱した場合の措置は対象外である。
 - (4) コーデックス(Codex)委員会は、国際標準化機構(ISO)の下部組織である。
 - (5) ISO 14000シリーズは、「食品安全マネジメントシステム-フードチェーンに関わる組織に対する要求事項」の国際規格である。
- 65 遺伝子組換え食品の表示に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 分別流通管理をしていない非遺伝子組換え作物は、「遺伝子組換え不分別」の表示が省略できる。
 - (2) 遺伝子組換え大豆を原料とするしょう油は、遺伝子組換え食品の表示が義務づけられている。
 - (3) 表示義務の対象となっている作物を原材料とする食品であっても、その原材料の食品に占める重量が5%未満のものは、表示が省略できる。
 - (4) 遺伝子組換えトウモロコシを主原料とするコーン油は、遺伝子組換え食品の表示が義務づけられている。
 - (5) 非遺伝子組換え大豆を原料とした豆腐は、「非遺伝子組換え食品」の表示が義務づけられている。

66 食品の健康・栄養関連の表示に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 身体の構造と機能に影響を及ぼすことを目的とした表示は、薬事法の規制を受ける。
- (2) 健康保持増進効果について、虚偽又は誇大な広告の表示は、健康増進法によって禁止されている。
- (3) 特定保健用食品の疾病リスク低減表示は、薬事法に基づいて定められている。
- (4) 栄養機能食品は、食品衛生法と健康増進法に基づいて定められている。
- (5) 合理的な根拠のない表示は、景品表示法によって禁止されている。

67 特定保健用食品の表示に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 「歳をとってからの骨粗鬆症になるリスクを低減するかもしれません」の表示が許可されている関与成分は、ビタミンDである。
- (2) 規格基準型特定保健用食品には、「根拠は必ずしも確立されていません」の表示が含まれている。
- (3) 条件付き特定保健用食品の表示は、特定保健用食品と同じである。
- (4) 特定保健用食品の保健の用途の表示を許可するのは、厚生労働省である。
- (5) 保健の用途の表示内容は、ヒトにおける有効性と安全性が明らかにされている必要がある。

68 特別用途食品に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 総合栄養食品は、通常の食事で十分な栄養を摂ることが困難な患者のために、栄養素をバランスよく配合した食品である。
- (2) 乳児用調製粉乳として販売するには、定められた基準を満たしていれば、国に届け出るだけでよい。
- (3) 許可基準がない病気に関する病者用食品は、個別に評価・許可される。
- (4) えん下困難者用食品は、特別用途食品の1つである。
- (5) アレルゲン除去食品には、許可基準がある。

69 食品の加工とそれに関与する酵素の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 果糖の製造 ————— β -グルカナーゼ
- (2) チーズの製造 ————— α -アミラーゼ
- (3) 転化糖の製造 ————— インベルターゼ
- (4) 混濁果汁の清澄化 ——— レニン
- (5) 肉の軟化 ————— カタラーゼ

70 食品の加工に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) パンは、生地をこうじカビで発酵させて製造する。
- (2) ベーコンは、塩漬した牛肉をくん煙して製造する。
- (3) バターは、大豆中の脂質を抽出して製造する。
- (4) がんもどきは、小麦粉生地に副材料を加えて製造する。
- (5) かつお節枯れ節は、焙乾後カビ^{ばいかん}付けして製造する。

- 71 食品の保存に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 低温障害は、畜肉を冷凍する場合に生じる。
 - (2) 紫外線は、食品の内部に浸透する。
 - (3) 冷凍焼けは、緩慢冷凍により抑制できる。
 - (4) ブランチングは、冷凍野菜の褐変防止に有効である。
 - (5) 脱酸素剤は、嫌気性微生物の増殖抑制に有効である。
- 72 食品の容器包装に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) ラミネートは、2種類以上の包装素材を層状に成型したものである。
 - (2) ガラスは、容器包装リサイクル法の対象外である。
 - (3) プラスチック容器のリサイクル識別表示マークは、1種類である。
 - (4) アルミニウムは、プラスチックに比べて光透過性が高い。
 - (5) PET は、プロピレンを原料として製造される。
- 73 嗜好性の評価に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 嗜好性の評価には、環境要因は影響しない。
 - (2) 嗜好型官能評価では、訓練された検査員が製品の特性を客観的に評価する。
 - (3) 3点識別試験法は、3種類の異なる試料の差を識別する手法である。
 - (4) 食品のテクスチャーは、味覚に影響を及ぼす。
 - (5) 機器を用いて、テクスチャーを評価することはできない。
- 74 加熱調理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) ゆで加熱では、ゆで水からの放射により食品を加熱する。
 - (2) 蒸し加熱では、水蒸気の潜熱を利用して食品を加熱する。
 - (3) 伝導伝熱による加熱では、高温の物体から放出される赤外線を食品が吸収する。
 - (4) 電磁調理加熱では、食品自体を発熱させる。
 - (5) 電子レンジ加熱では、加熱時間は食品の水分量に依存しない。

75 魚介類の調理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 筋漿(筋形質)たんぱく質の多い魚は、でんぷに適する。
- (2) 生の白身魚は、赤身魚に比べて肉質がやわらかい。
- (3) 魚肉に1～3%の食塩を加えると、粘りの強いすり身ができる。
- (4) いかを開いて加熱すると、内臓側に収縮する。
- (5) 霜降りは、魚に塩をふって酢につけることをいう。

76 遺伝形質と生活習慣病の発症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 儉約(節約)遺伝子は、効率よくエネルギーを消費させる仮説の遺伝子である。
- (2) 2型糖尿病の発症には、遺伝素因は関わらない。
- (3) ヒト遺伝子の塩基配列には、個人差はない。
- (4) 肥満の遺伝形質をもつ人でも、肥満の予防は可能である。
- (5) 遺伝子の一塩基多型(SNP)は、出生後の食生活の影響によって生じる。

77 食物摂取と生体リズムに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 空腹時には、血中の遊離脂肪酸が減少する。
- (2) 生体リズムは、摂食行動によって影響される。
- (3) 味は、甘味、酸味、苦味、塩味、辛味の5つを基本味とする。
- (4) 食欲の中樞は、小脳に存在する。
- (5) レプチンは、摂食を促す。

78 消化と吸収に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 唾液分泌は、咀嚼によって増加する。
- (2) 胃におけるたんぱく質の消化酵素は、トリプシンである。
- (3) 胆汁は、消化酵素を含む。
- (4) フルクトースは、能動輸送によって吸収される。
- (5) 非ヘム鉄の吸収は、共存する食品成分の影響を受ける。

- 79 たんぱく質の栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) たんぱく質の摂取量が多くなると、ビタミンB₁の必要量は増大する。
 - (2) たんぱく質の摂取量が多くなると、健常成人では窒素出納は負になる。
 - (3) 摂取したたんぱく質の体たんぱく質合成への利用は、糖質の摂取量が多いと低下する。
 - (4) 食品たんぱく質の生物価は、吸収された窒素の体内への保留割合を示す。
 - (5) 食品たんぱく質の栄養価は、含まれる可欠アミノ酸(非必須アミノ酸)のバランスで決まる。
- 80 糖質の栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 脳には、クエン酸回路は存在しない。
 - (2) 脳は、糖新生で生成したグルコースを利用できない。
 - (3) 筋肉グリコーゲンは、嫌氣的代謝に利用できない。
 - (4) 筋肉グリコーゲンは、グルコースとなって血中に放出される。
 - (5) 血中の乳酸は、肝臓でグルコースに変換される。
- 81 糖質の体内代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) グリコーゲンの貯蔵総量は、筋肉より肝臓に多い。
 - (2) 筋肉は、糖新生を行う。
 - (3) 肝臓のグルコース利用は、血糖値の影響を受けない。
 - (4) 赤血球では、グルコースから乳酸が生成する。
 - (5) 脂肪組織には、ペントースリン酸回路は存在しない。
- 82 脂質の体内代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) ケトン体は、肝臓でエネルギー源として利用される。
 - (2) 血中の遊離脂肪酸は、アルブミンに結合して運搬される。
 - (3) インスリンは、ホルモン感受性リパーゼの働きを促進する。
 - (4) コレステロールは、エネルギー源として利用される。
 - (5) LDLは、トリアシルグリセロールを含有していない。

- 83 脂肪酸の体内代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) アラキドン酸は、 α -リノレン酸から生成される。
 - (2) オレイン酸は、必須脂肪酸である。
 - (3) ドコサヘキサエン酸は、炭素数 20 の脂肪酸である。
 - (4) リノール酸は、飽和脂肪酸から生成される。
 - (5) エイコサノイドには、血小板凝集を阻害するものがある。
- 84 食後の代謝変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 脳では、ケトン体の利用は増加する。
 - (2) 筋肉では、グルコースの取り込みは減少する。
 - (3) 肝臓では、脂肪酸合成は増加する。
 - (4) 肝臓では、ケトン体合成は増加する。
 - (5) 脂肪組織では、脂肪酸の取り込みは減少する。
- 85 ビタミンの栄養学的機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) ビタミン A は、アミノ酸代謝の補酵素として働く。
 - (2) ビタミン D は、脾臓で活性型に変換される。
 - (3) ビタミン B₁ が欠乏すると、血中の乳酸が減少する。
 - (4) ビオチンには、抗酸化作用がある。
 - (5) ビタミン C が欠乏すると、出血傾向がみられる。
- 86 脂溶性ビタミンの代謝と栄養学的機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 活性型ビタミン D の生成は、副甲状腺ホルモン(PTH)により抑制される。
 - (2) 活性型ビタミン D は、核内受容体に結合して作用する。
 - (3) ビタミン A の欠乏では、溶血性貧血が起こる。
 - (4) ビタミン E の過剰では、頭蓋内圧が亢進する。
 - (5) ビタミン K の欠乏では、血液が凝固しやすくなる。

- 87 ミネラル(無機質)の栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) リンは、核酸の構成成分である。
 - (2) 血中カルシウム値が上昇すると、カルシトニン分泌は低下する。
 - (3) マグネシウムの体内貯蔵量は、血清フェリチン値に反映される。
 - (4) 垂鉛の吸収は、フィチン酸で促進される。
 - (5) ヨウ素は、副甲状腺ホルモン(PTH)の構成成分である。
- 88 水・電解質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 水分欠乏型脱水では、細胞内液量は増加する。
 - (2) 不可避尿量は、摂取する水分量によって変わる。
 - (3) 1日の水分必要量は、不感蒸泄量に等しい。
 - (4) たんぱく質が代謝されると、代謝水を生じる。
 - (5) 不感蒸泄量は、外気温が上昇すると減少する。
- 89 エネルギー代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 基礎代謝量は、除脂肪体重(LBM)に反比例する。
 - (2) 基礎代謝量は、幼児期に最大となる。
 - (3) 基礎代謝量は、甲状腺機能の亢進により増加する。
 - (4) 非たんぱく質呼吸商は、糖質の燃焼割合が高いほど小さくなる。
 - (5) 安静時のエネルギー消費量は、発熱により減少する。
- 90 栄養アセスメントに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 尿中尿素排泄量は、高たんぱく質食摂取で増加する。
 - (2) 尿中クレアチニン排泄量を用いて、推算糸球体濾過量(eGFR)を算出する。
 - (3) 上腕筋面積は、内臓脂肪量を反映する。
 - (4) 血清アルブミン値は、骨格筋量を反映する。
 - (5) 血清トランスサイレチンは、静的栄養アセスメントの指標である。

91 日本人の食事摂取基準(2010年版)における栄養素の指標と、その目的に関する組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 推定平均必要量(EAR) —— 生活習慣病の一次予防
- (2) 耐容上限量(UL) —— 生活習慣病の二次予防
- (3) 目安量(AI) —— 生活習慣病の三次予防
- (4) 目標量(DG) —— 過剰摂取による健康障害からの回避
- (5) 推奨量(RDA) —— 摂取不足からの回避

92 日本人の食事摂取基準(2010年版)の活用の基礎理論に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 食事制限がある対象者には、治療ガイドラインを優先して用いる。
- (2) 栄養素の摂取源として、いわゆる健康食品は含まれない。
- (3) 習慣的な摂取量の基準を示すものである。
- (4) 示された数値の信頼度は、栄養素間で同じである。
- (5) 栄養素の特性による優先順位は、存在しない。

93 成長、発達に伴う身体的変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 乳幼児身体発育曲線における50パーセンタイル値は、平均値を示している。
- (2) カウプ指数は、 $\{\text{体重(g)}/\text{身長(cm)}^3\} \times 10$ で算定される。
- (3) 学童期のローレル指数による肥満判定基準は、年齢によらず同じである。
- (4) 頭囲が出生時の約1.5倍となるのは、2歳頃である。
- (5) 体重が出生時の約3倍になるのは、4歳頃である。

94 成長、発達、加齢に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 1～2歳の基礎代謝基準値は、3～5歳より低い。
- (2) 小腸のラクターゼ活性は、離乳完了後に上昇する。
- (3) 血清IgA濃度は、生後上昇する。
- (4) 唾液分泌量は、高齢者では増加する。
- (5) 胸腺重量は、成人期に最大となる。

- 95 妊娠期に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 妊娠高血圧症候群の予防には、食塩摂取量として12g/日以下が勧められる。
 - (2) 非妊娠時に比べて、インスリン抵抗性は低下する。
 - (3) ビタミンB₁₂欠乏により、ウェルニッケ・コルサコフ症候群が起こる。
 - (4) 妊娠時に最も多くみられる貧血は、巨赤芽球性貧血である。
 - (5) 妊娠糖尿病は、将来糖尿病を発症するリスクが高い。
- 96 離乳の進め方に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 哺乳反射による動きが活発になってきたら、離乳食を開始する。
 - (2) 離乳開始前に果汁を与えることが、栄養学的に推奨されている。
 - (3) 離乳食介助では、スプーンを乳児の口の奥に入れる。
 - (4) 離乳食を1日3回にするのは、生後9か月頃からである。
 - (5) 離乳の完了とは、乳汁を飲んでいない状態を意味する。
- 97 母乳に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) WHO/UNICEF(1989年)では、分娩後60分以降に母乳を与えることを勧められている。
 - (2) 吸啜刺激は、プロラクチンの分泌を抑制する。
 - (3) オキシトシンは、射乳を起こす。
 - (4) 分泌型IgAは、初乳より成熟乳に多く含まれている。
 - (5) エネルギー量は、成熟乳より初乳が多い。
- 98 幼児期に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) カウプ指数による発育状況判定では、男女差を考慮する。
 - (2) 原発性(単純性)肥満より、二次性(症候性)肥満が多い。
 - (3) 体重当たりのエネルギー必要量は、成人より少ない。
 - (4) 体水分に占める細胞外液量の割合は、成人より高い。
 - (5) 総エネルギー摂取量の30~40%を間食から摂取する。

99 思春期女子に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 思春期スパートの開始は、男子より遅い。
- (2) カルシウム蓄積速度は、思春期前半より後半の方が大きい。
- (3) 鉄欠乏性貧血は、男子より少ない。
- (4) 神経性食欲不振症は、男子より少ない。
- (5) 急激な体重減少は、月経異常の原因となる。

100 更年期の女性に起こる変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エストロゲンの分泌量は、増加する。
- (2) プロゲステロンの分泌量は、増加する。
- (3) 卵胞刺激ホルモン(FSH)の分泌量は、増加する。
- (4) 骨密度は、増加する。
- (5) 血清LDL-コレステロール値は、低下する。

101 生活習慣病予防に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食事調査における過小申告の程度は、肥満度の影響を受ける。
- (2) エネルギー摂取量の過不足の評価は、血糖値により判断する。
- (3) 皮下脂肪は、内臓脂肪より分解されやすい。
- (4) 肥満度と血清尿酸値の間には、負の相関関係がある。
- (5) 食物繊維の目標量(DG)は、10 g/日以上である。

102 高齢期の栄養に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質の不足は、褥瘡のリスク因子である。
- (2) 高尿酸血症は、変形性膝関節症のリスク因子である。
- (3) 認知症は、摂食行動異常の原因となる。
- (4) うつ状態は、低栄養のリスク因子である。
- (5) 腹筋の緊張低下は、便秘の原因となる。

103 習慣的な運動によって起こる変化である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 最大酸素摂取量の低下
- (2) インスリン感受性の低下
- (3) 本態性高血圧の改善
- (4) サルコペニアの促進
- (5) 骨吸収の促進

104 ストレス応答の抵抗期に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 副交感神経の活動は、亢進する。
- (2) 尿中窒素排泄量は、減少する。
- (3) エネルギー必要量は、増大する。
- (4) 血清ビタミンC値は、上昇する。
- (5) 血中遊離脂肪酸値は、低下する。

105 特殊環境と栄養ケアに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 高温環境では、ナトリウムの摂取を制限する。
- (2) 低温環境では、脂肪の摂取を制限する。
- (3) 低温環境では、低たんぱく質食とする。
- (4) 低圧環境では、食欲が亢進する。
- (5) 無重力環境では、循環血液量が減少する。

26

午後の部

試験問題	試験時間
106～200	13時55分～16時20分

● 指示があるまで開かないこと。

<注意事項>

1. 問題の数

試験問題は106～200まで95問である。

2. 受験地、受験番号、氏名の記入方法

注意事項を読み終わったら、まず受験地、受験番号、氏名を文字と数字で記入する。次に答案用紙右側の受験地、受験番号の該当する○をマークする(塗りつぶす)。なお、記入にあたっては次の例を参考のこと。

(例) 受験地・東京都、受験番号・00027、氏名・栄養花子の場合

午後

受験地	東京都	受験番号	0	0	0	2	7
氏名	栄養花子						

受験地	北海道	宮城県	東京都	愛知県	大阪府	岡山県	福岡県	沖縄県			
	○	○	●	○	○	○	○	○			
受験番号	万	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	千	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	百	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	拾	○	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
巻	○	①	②	③	④	⑤	⑥	●	⑧	⑨	

3. 解答方法

解答方法は次のとおりである。

- (1) (例1)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例1)の質問には2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例1)

201 管理栄養士の名称を用いて業務を開始できると定められている日である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 合格発表日
- (2) 合格証書受領日
- (3) 管理栄養士免許申請日
- (4) 管理栄養士名簿登録日
- (5) 免許証受領日

正しい答えは、「(4) 管理栄養士名簿登録日」であるから答案用紙の問題番号201の④をマークすればよい。

201	①	②	③	④	⑤
			↓		
201	①	②	③	●	⑤

- (2) (例2)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを2つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例2)の質問には1つ又は3つ以上マークした場合は誤りとする。

(例2)

202 管理栄養士名簿の登録事項に変更が生じた場合、訂正が必要なものである。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 氏名
- (2) 住所地
- (3) 本籍地都道府県名(日本の国籍を有しない者については、その国籍)
- (4) 勤務地
- (5) 出身校の所在地

正しい答えは、「(1) 氏名」「(3) 本籍地都道府県名」であるから答案用紙の
問題番号 202 の①、③をマークすればよい。

202	①	②	③	④	⑤
202	●	②	●	④	⑤

4. その他の注意事項

- (1) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し濃くマークすること、○の外にはみ出さないように注意すること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例……  (解答にならない。)

- (2) 答えを修正した場合は必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにはならないから注意すること。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモ等で汚したりしないよう特に注意すること。

106 対象者の健康状態に応じた栄養教育と、疾病予防における一次・二次・三次予防に関する組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 糖尿病患者の食事づくり手である妻に、糖尿病交換表 _____ 一次予防の使い方を教える
- (2) 学校の定期健康診断で肥満と判定された児童と保護者 _____ 一次予防に、栄養相談を実施する
- (3) 特定健康診査の結果、特定保健指導の対象となった人 _____ 二次予防に、次年度の健診受診を勧める
- (4) 脳卒中で倒れた人に、片麻痺でも援助なしで食事が _____ 二次予防しやすい食器を紹介する
- (5) 親をがんで亡くしている人に、食生活とがんの関連に _____ 三次予防について説明する

107 トランスセオレティカルモデル(行動変容段階モデル)に基づき、減量を目的とした栄養教育を行った。前熟考期(無関心期)の人を対象とした支援に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 上司から酒を勧められたときの断り方を練習させた。
- (2) 肥満から生活習慣病になった人が周囲にいないか、たずねた。
- (3) 家では野菜料理を中心とした食事にしてもらうよう、助言した。
- (4) 昼食に小さめの弁当を持って行くことを提案した。
- (5) 目標体重が達成できたときのごほうびを考えてあげた。

108 社会的認知理論(社会的学習理論)に含まれる結果期待と自己効力感(セルフ・エフィカシー)に関する記述である。子どもを対象とした、自己効力感を高める栄養教育として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜を食べると、風邪をひかない丈夫な身体になると教える。
- (2) 苦手なものがあっても、食べられるようになった子どもの話をする。
- (3) 朝ごはんを食べると、勉強に集中できるようになると話す。
- (4) ジュースには砂糖が多く含まれていて、虫歯の原因になることを説明する。
- (5) 給食を残すと、作ってくれた人が悲しむことを説明する。

109 栄養カウンセリングの初回面接における管理栄養士の質問である。行動変容の準備性を確認する発言として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 「健康診断の結果をご覧になって、どう思われましたか。」
- (2) 「今日は、朝ごはんを召し上がりましたか。」
- (3) 「夕飯の時間は、いつも何時頃ですか。」
- (4) 「家族の方は、あなたの健康について、何かおっしゃっていますか。」
- (5) 「同僚から、飲みに誘われることは多いですか。」

110 栄養カウンセリングにおけるクライアントとの接し方に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) クライアントの発言内容だけでなく、視線や声のトーンなど、非言語的表現にも注目する。
- (2) 「糖尿病が心配で、相談に来られたのですよね」と、栄養カウンセリングの目的を確認する。
- (3) クライアントの考えや気持ちを聞く前に、食事記録を見て「野菜が少ないですね」といった評価をする。
- (4) 「間食は、毎日召し上がりますか」といった閉じた質問も、状況に応じて使い分ける。
- (5) クライアントの話を聴きながら、「そうですね」とうなずき、共感的理解を示す。

111 小集団を対象とした栄養教育における、グループダイナミクスを活用した学習活動に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 参加者全員が、食事記録をつけて自分の課題を考える。
- (2) 参加者が1人ずつ、食事診断結果について説明を受ける。
- (3) 参加者同士で、食事診断結果からわかった課題の解決方法を話し合う。
- (4) 参加者が指導者とペアになって、間食を勧められたときの断り方を練習する。
- (5) 参加者全員で、外部講師の講演を聞く。

112 栄養教育を受けたことが、組織づくりへと展開した事例に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 市町村の離乳食教室に参加した女性が、友人に勧められたベビーフードの使用を断った。
- (2) 肥満予防教室の参加者が、自身が考案した低エネルギーレシピをインターネット上で公開した。
- (3) 食に関連したソーシャルキャピタルに関する講演を聞いた男性が、家族に内容を伝えた。
- (4) 嚥下障害の配偶者を持つ男性が、同じ境遇にある介護体験者の講話を聞いてエンパワメントされた。
- (5) 糖尿病教室の参加者が、教室終了後に自助集団(セルフヘルプグループ)を形成した。

113 肥満対策として実施されている食環境整備に関連した諸外国の法律・制度である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 子ども向けジャンクフードの広告規制
- (2) 飲食店におけるエネルギー表示の義務化
- (3) 高脂肪食品・ジャンクフードに対する課税
- (4) 学校内の清涼飲料水の自動販売機設置に関する条例の制定
- (5) 学校における栄養バランスの良い献立の調理実習

114 栄養教育のアセスメントの際に情報を収集する方法と、その内容に関する組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 質問紙法 _____ 調査者が、健診会場で対象者の身体状況を測定して記録する
- (2) 面接法 _____ 調査者が、子供たちの保育園給食の食べ方を見て問題点を記録する
- (3) フォーカスグループ インタビュー _____ 調査者が、テーマにあわせて少人数の対象者を選定し、話し合いをさせ記録する
- (4) 観察法 _____ 調査者が、対象者と直接話をしながら、情報を引き出す
- (5) 実測法 _____ 調査者が、対象者にアンケートへの回答を求める

115 高校の健康診断の結果、摂食障害と食行動異常が疑われた女子に対する栄養カウンセリングに関する記述である。対象者の行動分析として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 痩せた体型でいたい、という対象者の気持ちに理解を示す。
- (2) 適正体重の維持が、健康のために重要であると説明する。
- (3) 当面目標とする体重を設定し、1日の摂取エネルギー量を指示する。
- (4) どのような時に、隠れ食いや嘔吐をしたくなるのか、たずねる。
- (5) 排出行為としての嘔吐は、身体によくないと教える。

116 栄養教育の目標には、学習目標、行動目標、環境目標、結果(アウトカム)目標がある。結果目標を「血圧の低下」と設定した男性会社員の栄養教育において、本人が設定する行動目標に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食塩摂取と血圧との関係を理解する。
- (2) 外食時に栄養成分表示を活用できるようにする。
- (3) 漬物を食べる回数を1日1回にする。
- (4) 家庭に減塩しょう油を常備する。
- (5) 社員食堂の料理の味付けを薄味にする。

117 栄養教育における学習内容と学習形態及び教材の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脂肪酸組成の知識 —— ブレインストーミング —— 日本食品標準成分表
- (2) 食事記録の方法 —— 講義 —— 歩数計
- (3) 栄養計算の方法 —— ディベート —— 食事バランスガイド
- (4) 減塩食の作り方 —— 体験学習 —— 計量スプーン
- (5) 有酸素運動の方法 —— ロールプレイ —— 呼気ガス分析装置

118 肝機能障害を有するアルコール多飲者に対して実施した栄養教育の評価の種類と、その内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 経過評価 —— 居酒屋に行くのをやめた
- (2) 経過評価 —— 飲んだアルコールの量を記録し、提出した
- (3) 影響評価 —— 仕事が忙しいため、個人面接の日に来なかった
- (4) 影響評価 —— 健康診断の結果、肝機能の改善がみられた
- (5) 結果評価 —— 缶ビールのサイズが500 mLから350 mLになった

119 栄養教育における経済的評価に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 費用効果分析では、教育効果を金額に換算して評価を行う。
- (2) 費用効果分析では、異なるプログラムを比較分析できる。
- (3) 費用便益分析では、教育効果を生活の質に置き換えて評価を行う。
- (4) 費用効用分析では、教育効果を医療費の削減額から評価する。
- (5) 費用効用分析では、一定量の効果を得るために要した費用を算出する。

120 「妊産婦のための食生活指針」と「妊産婦のための食事バランスガイド」を用いた栄養教育に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 妊娠全期間の体重増加量は、妊娠初期のBMIに基づいて説明する。
- (2) 妊娠初期は、ビタミンAの過剰摂取に注意するよう説明する。
- (3) 葉酸の栄養機能食品の利用は、妊娠末期になってから勧める。
- (4) 妊娠初期は、主菜と牛乳・乳製品について付加量が示されていることを説明する。
- (5) 妊娠末期には、5つの料理区分すべての付加量を加味した食事例を示す。

121 臨床栄養で使用される用語に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) クリニカルパスに基づいて、家族へ栄養治療計画の説明を行う。
- (2) 食事への毛髪混入予防は、リスクマネジメントの一つである。
- (3) ノーマリゼーションに基づいて、障がい者の栄養介入を行う。
- (4) インフォームドコンセントでは、患者及び家族の意思は反映されない。
- (5) ターミナルケアでは、患者の嗜好を尊重する。

122 栄養における診療報酬・介護報酬算定に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食道がん術後は、入院栄養食事指導の算定対象となる。
- (2) 外来患者は、経口移行加算の対象となる。
- (3) 在宅療養患者は、栄養管理実施加算の対象となる。
- (4) 栄養サポートチーム加算は、毎日算定できる。
- (5) 栄養マネジメント加算は、1週間に1回算定できる。

123 75歳、男性、身長178cm、体重70kg(標準体重70kg)の入院患者の1日尿中クレアチニン排泄量が1,100mgのときのクレアチニン身長係数である。正しいのはどれか。1つ選べ。

ただし、クレアチニン排泄基準値は、標準体重1kg当たり23mgである。

- (1) 約150%
- (2) 約100%
- (3) 約90%
- (4) 約70%
- (5) 約50%

124 臨床で用いる窒素出納を求める簡易式である。正しいのはどれか。1つ選べ。

ただし、尿中への1日窒素排泄量が、体全体の窒素排泄量の80%を占める。

- (1) $0.8/\text{尿中窒素排泄量(g/日)} - 6.25/\text{たんぱく質摂取量(g/日)}$
- (2) $\text{尿中窒素排泄量(g/日)}/0.8 - 6.25/\text{たんぱく質摂取量(g/日)}$
- (3) $6.25/\text{たんぱく質摂取量(g/日)} - 0.8/\text{尿中窒素排泄量(g/日)}$
- (4) $\text{たんぱく質摂取量(g/日)}/6.25 - 0.8/\text{尿中窒素排泄量(g/日)}$
- (5) $\text{たんぱく質摂取量(g/日)}/6.25 - \text{尿中窒素排泄量(g/日)}/0.8$

125 臨床検査値による栄養状態の評価に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血清アルブミン値は、栄養不良により上昇する。
- (2) 血中尿素窒素値は、食事摂取量の影響を受けない。
- (3) 尿中クレアチニン排泄量は、筋肉量の指標となる。
- (4) 血清トランスフェリン値は、脂質代謝の指標となる。
- (5) 血清C-ペプチド値は、尿酸代謝の指標となる。

126 入院患者の栄養ケア計画に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 疾患の治療方針に沿う。
- (2) 多職種で計画を立てる。
- (3) 家族への栄養教育は含まない。
- (4) 食事計画に対する患者の同意を得る。
- (5) 決定した内容を文章化する。

127 経口栄養法に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 軟食は、主食の形態による分類である。
- (2) 流動食の目的の一つは、水分の補給である。
- (3) 常食は、患者の年齢も考慮した食事である。
- (4) 特別食加算の貧血食は、溶血性貧血が対象である。
- (5) 注腸造影検査食は、食物繊維を少なくした食事である。

128 経腸栄養法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 経鼻経管法では、カテーテル先端を回腸に留置する。
- (2) 成分栄養剤の脂肪エネルギー比率は、20%である。
- (3) 腸痙による経腸栄養管理は、8週間を超えてはならない。
- (4) 食道通過障害時には、使用できない。
- (5) 肝不全用経腸栄養剤は、芳香族アミノ酸を少なくしている。

129 静脈栄養法による栄養管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 生理食塩液には、9 mEq/L の Na^+ が含まれる。
- (2) 成人のブドウ糖の投与速度は、10 mg/kg 体重/分とする。
- (3) 高カロリー輸液用基本液には、亜鉛が含まれる。
- (4) ビタミン B₆ 欠乏では、代謝性アシドーシスを発症する。
- (5) 脂肪乳剤は、末梢静脈から投与できない。

130 68歳、男性、食欲不振があり最近の6週間で体重が8kg減少し入院した。入院時身長170cm、体重52kg、血清アルブミン値2.8g/dLで低栄養状態と判定された。この患者の中心静脈栄養管理の方針に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー投与量を40kcal/kg/日から開始する。
- (2) 水分補給を実施する。
- (3) 血清カリウム値をモニタリングする。
- (4) 血清リン値をモニタリングする。
- (5) 血清マグネシウム値をモニタリングする。

131 栄養ケア・マネジメントに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 問題志向型診療記録(POMR)は、多職種共通の記録方式である。
- (2) 栄養スクリーニングは、退院時に行う。
- (3) 主観的包括的栄養評価法(SGA)は、栄養スクリーニングに有用である。
- (4) 栄養ケア計画作成には、身体計測が必要である。
- (5) 栄養補給実施後は、再評価を行う。

132 ミネラルとその欠乏症の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) クロム ————— 心筋障害
- (2) セレン ————— 骨粗鬆症
- (3) 鉄 ————— ヘモクロマトーシス
- (4) 亜鉛 ————— 皮膚炎
- (5) カルシウム ———— 尿路結石

133 肥満に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 学童期の高度肥満は、肥満度が20%以上と定義される。
- (2) メタボリックシンドロームは、内臓脂肪蓄積型肥満を呈する。
- (3) 肥満では、インスリン感受性が高まる。
- (4) 原発性(単純性)肥満では、血漿レプチン値が低下する。
- (5) 二次性(症候性)肥満は、生活習慣病である。

134 糖尿病の食事療法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 指示エネルギー量は、[標準体重(kg) × ストレス係数]で算出する。
- (2) 指示たんぱく質量は、1.0~1.2 g/kg(標準体重)とする。
- (3) ショ糖の摂取は、インスリン抵抗性を改善する。
- (4) アルコールのエネルギー量は、4 kcal/gで計算する。
- (5) インスリン治療中の患者には、炭水化物のエネルギー比率を75%にする。

135 糖尿病合併症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 糖尿病神経障害は、尿中微量アルブミンの出現で診断される。
- (2) 糖尿病神経障害では、自律神経は障害されない。
- (3) 糖尿病腎症は、血中HbA_{1c}の増加で診断される。
- (4) 糖尿病網膜症は、失明の原因になる。
- (5) 糖尿病ケトアシドーシス発症時の治療は、食事療法で行う。

136 高尿酸血症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血清尿酸値が、5 mg/dL以上で診断される。
- (2) エストロゲンには、尿酸の尿中排泄促進作用がある。
- (3) 痛風発作極期には、アロプリノール(尿酸生成阻害薬)を使用する。
- (4) 水分制限を勧める。
- (5) アルコール摂取を勧める。

137 腸疾患とその栄養療法の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく漏出性胃腸症 —— エネルギー制限食
- (2) 過敏性腸症候群 —— 中心静脈栄養法
- (3) クロウン病(寛解期) —— 低脂肪食
- (4) 潰瘍性大腸炎(寛解期) —— 低たんぱく質食
- (5) 便秘症 —— 高たんぱく質食

138 50歳、男性、身長165cm、体重70kg。C型肝硬変と診断された。両下肢の浮腫、腹水、黄疸を認める。血中ヘモグロビン値9.6g/dL、血清アルブミン値2.9g/dL、血中アンモニア値188 μ g/dL。食事療法の方針に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食塩摂取量は、6g/日とする。
- (2) 飲水量は、300mL/日以下とする。
- (3) 脂肪エネルギー比率は、35%とする。
- (4) たんぱく質摂取量は、90g/日とする。
- (5) 鉄摂取量は、20mg/日とする。

139 70歳、男性、慢性腎不全。血清クレアチニン値2.5mg/dL、血中尿素窒素値58mg/dL、血清カリウム値5.7mEq/L、血清リン値5.6mg/dL、血清カルシウム値8.5mg/dL、血清ナトリウム値134mEq/L。この患者への食事指導である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) カリウム摂取制限
- (2) たんぱく質摂取制限
- (3) 食塩摂取制限
- (4) リン摂取制限
- (5) カルシウム摂取制限

140 成人のネフローゼ症候群の栄養管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく尿消失後は、エネルギー量を標準体重1kg当たり20kcal/日とする。
- (2) ステロイド薬使用時は、食欲低下に注意する。
- (3) 低たんぱく血症時は、たんぱく質量を標準体重1kg当たり2.0g/日とする。
- (4) 高コレステロール血症時は、脂肪エネルギー比率を10%程度とする。
- (5) 軽度の浮腫がみられる時は、食塩を5g/日とする。

141 内分泌疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 甲状腺機能亢進症では、血清総コレステロール値が低下する。
- (2) 甲状腺機能亢進症では、水分制限を行う。
- (3) 甲状腺機能低下症では、高エネルギー食とする。
- (4) クッシング症候群では、低血糖をきたす。
- (5) 副甲状腺機能低下症では、低カリウム血症を呈する。

142 脳血管疾患に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 片麻痺が生じると、ADLは低下する。
- (2) 意識障害の程度は、血清CRP値で判定される。
- (3) 寝たきりになると、エネルギー必要量は減少する。
- (4) 意識障害がある場合も、経腸栄養法が適用できる。
- (5) 経口摂取を開始する場合には、誤嚥性肺炎に注意する。

143 食物アレルギーに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) アナフィラキシーショックが、認められる。
- (2) コルチゾールの投与は、有効である。
- (3) 肥満(マスト)細胞が、関与する。
- (4) 血中の好中球数が、増加する。
- (5) ヒスタミンが、関与する。

144 がん患者に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 早期胃がんでは、悪液質がみられる。
- (2) 回盲部切除後には、ビタミンB₆の吸収が低下する。
- (3) 膵臓切除後には、グルカゴン分泌が亢進する。
- (4) 化学療法施行時には、食欲が亢進する。
- (5) 緩和ケアの対象には、早期がん患者が含まれる。

145 後期ダンピング症候群に関する記述である。 に入る正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

食事摂取後、一過性の a により、 b の分泌亢進が起こり、 c を呈する。

- | | a | b | c |
|-----|----------|-------------|-----|
| (1) | 高ナトリウム血症 | ナトリウム利尿ペプチド | 脱水 |
| (2) | 高ナトリウム血症 | 抗利尿ホルモン | 脱水 |
| (3) | 低血糖 | グルカゴン | 高血糖 |
| (4) | 高血糖 | アドレナリン | 低血糖 |
| (5) | 高血糖 | インスリン | 低血糖 |

146 クリティカルケアに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 熱傷患者では、水分喪失量が増加する。
- (2) 熱傷患者では、血管透過性が亢進する。
- (3) 全身性炎症反応症候群(SIRS)では、エネルギー代謝が亢進する。
- (4) 外傷時には、たんぱく質異化が亢進する。
- (5) 肝性脳症発現時には、血中分枝アミノ酸が増加する。

147 誤嚥予防に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 食事摂取時の姿勢は、仰臥位とする。
- (2) 顎を上挙げて嚥下する。
- (3) スプーンは、浅いものとする。
- (4) きざみ食とする。
- (5) 水は、とろみをつける。

148 ホモシスチン尿症の栄養管理で、摂取制限が必要なアミノ酸である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) フェニルアラニン
- (2) メチオニン
- (3) トレオニン
- (4) ロイシン
- (5) トリプトファン

149 妊娠糖尿病に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 妊娠前から診断されている糖尿病をいう。
- (2) 血糖コントロール目標は、朝食前血糖値を 150 mg/dL とする。
- (3) 妊娠に伴うエネルギー付加は、行わない。
- (4) 薬物療法には、インスリンを用いる。
- (5) ケトン体産生を亢進させる食事とする。

150 褥瘡に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 鎖骨部は、好発部位である。
- (2) 治療は、創傷部を加圧することである。
- (3) 糖尿病患者では、悪化しやすい。
- (4) 鉄摂取を制限する。
- (5) 水分摂取を制限する。

151 公衆栄養活動に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 地域住民主体で実践する。
- (2) 住民の自己管理能力の活用を必要とする。
- (3) 傷病者の社会復帰を第一の目的とする。
- (4) 他分野との連携を必要とする。
- (5) 健康づくりを支援する環境の整備を行う。

152 最近の国民健康・栄養調査の結果からみた成人の身体状況に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) メタボリックシンドロームが強く疑われる者の割合は、男性より女性で高い。
- (2) メタボリックシンドロームが強く疑われる者の割合は、男女共に40歳代が最も高い。
- (3) 肥満者の割合は、女性より男性で高い。
- (4) 男性の肥満者の割合は、20歳代が最も高い。
- (5) 女性の肥満者の割合は、40歳代が最も高い。

153 最近の国民健康・栄養調査の結果からみた成人の栄養・食生活に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脂肪エネルギー比率が30%以上の者の割合は、女性より男性で高い。
- (2) 食塩摂取量は、年齢階級が上がるとともに減少している。
- (3) カルシウム摂取量は、20歳代が最も多い。
- (4) 野菜摂取量は、60歳代が最も多い。
- (5) 朝食欠食率は、40歳代が最も高い。

154 食料需給表(フードバランスシート)に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食料需給表は、総務省が作成する。
- (2) 国連世界食糧計画(WFP)の手引きに準拠して作成する。
- (3) 国内生産量には、輸入した原材料で国内生産した製品は含めない。
- (4) 純食料は、粗食料に歩留りをかけたものである。
- (5) 1人1日当たりの供給栄養量は、実際に摂取した栄養量と一致する。

155 A市には、保健所と保健センターがある。業務とその分担の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 母子保健推進員の育成 ————— 保健所
- (2) 3歳児健康診査の実施 ————— 保健所
- (3) 難病患者とその家族への支援 ————— 保健所
- (4) 食中毒調査票の作成 ————— 保健センター
- (5) 特定給食施設への栄養管理に関する指導 ——— 保健センター

156 栄養政策に関連する法規の内容に関する記述である。□に入る用語の組合せとして、正しいのはどれか。1つ選べ。

地域住民の健康増進のために必要な栄養指導を行う者として、□ a □ は □ b □ に基づき、□ c □ または管理栄養士の資格を有する都道府県職員等のうちから都道府県知事が命ずる。

- | | a | b | c |
|-----|----------|----------|--------|
| (1) | 食生活改善推進員 | —— 地域保健法 | —— 栄養士 |
| (2) | 食生活改善推進員 | —— 健康増進法 | —— 栄養士 |
| (3) | 栄養指導員 | —— 健康増進法 | —— 栄養士 |
| (4) | 栄養指導員 | —— 健康増進法 | —— 医師 |
| (5) | 栄養指導員 | —— 地域保健法 | —— 医師 |

157 栄養士法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 管理栄養士の定義が示されている。
- (2) 食品衛生監視員の業務が示されている。
- (3) 栄養教諭の業務が示されている。
- (4) 国民健康・栄養調査員の任用資格が示されている。
- (5) 特定給食施設における管理栄養士配置基準が示されている。

158 国民健康・栄養調査の実施に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 地域保健法に規定されている。
- (2) 企画・立案は、各都道府県が行う。
- (3) 栄養摂取状況調査には、食事歴法を用いる。
- (4) 個人の摂取量は、世帯ごとの案分比率により算出する。
- (5) 一日の運動量は、生活活動調査により求める。

159 食事バランスガイドに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 厚生労働省、農林水産省の2省合同で策定された。
- (2) 食生活指針を具体的な行動に結びつけるものである。
- (3) ポピュレーションアプローチに活用できる。
- (4) 栄養素ベースで示されている。
- (5) 食環境の整備に活用できる。

160 地域保健法の目的に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 地域及び広域を対象に効率的な医療を提供する体制を確保し、国民の健康の保持に寄与する。
- (2) 地域内の乳児・幼児並びに母性に対する保健指導等を行うことにより、国民保健の向上に寄与する。
- (3) 次世代育成支援対策を推進し、子どもが健やかに生まれ、育成される地域社会の形成に寄与する。
- (4) 地域保健対策が総合的に推進されることを確保し、地域住民の健康の保持及び増進に寄与する。
- (5) 食育に関する施策を総合的に推進し、健康で文化的な国民の生活と豊かな活力ある地域社会の実現に寄与する。

161 諸外国及び国際機関における健康・栄養政策に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食事摂取基準は、世界栄養宣言(1992年)に基づいて策定されている。
- (2) 食生活指針は、開発途上国においても作成されている。
- (3) フードガイドの食品分類は、各国共通である。
- (4) 学校給食プログラムの基準は、コーデックス(Codex)委員会により策定されている。
- (5) ヘルシーピープル2020は、WHOにより策定されている。

- 162 食事調査における誤差に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。
- (1) 個人の習慣的摂取量を真の値に近づけるためには、調査日数を増やす。
 - (2) 集団の摂取量を真の値に近づけるためには、対象の人数を増やす。
 - (3) 摂取量による集団内での個人のランクづけは、個人内変動が小さいほど正確である。
 - (4) 集団の摂取量の系統誤差を小さくするためには、調査日数を増やす。
 - (5) 集団の摂取量の偶然誤差を小さくするためには、対象の人数を増やす。
- 163 食事調査法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 食事記録法は、食物摂取頻度調査法に比べて、回答者の負担が小さい。
 - (2) 24時間思い出し法は、食物摂取頻度調査法に比べて、一度に多くの対象者に調査が可能である。
 - (3) 24時間思い出し法は、食事記録法に比べて、回答者の記憶への依存度が高い。
 - (4) 24時間思い出し法は、食事記録法に比べて、習慣的な食事内容が変更される可能性が大きい。
 - (5) 食物摂取頻度調査法は、陰膳法に比べて、調査費用が高い。
- 164 栄養素摂取量のエネルギー調整に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。
- (1) エネルギー調整は、エネルギー摂取量と相関性の低い栄養素の場合に行う。
 - (2) エネルギー調整は、エネルギー摂取量の過剰者をスクリーニングするために用いる。
 - (3) 残差法によるエネルギー調整栄養素摂取量は、同じ集団内での比較に用いる。
 - (4) 密度法では、エネルギーと栄養素の関連を一次回帰式で求める。
 - (5) 脂肪エネルギー比率は、エネルギー調整された値である。

165 日本人の食事摂取基準(2010年版)に基づいた集団の食事改善計画である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー摂取の過不足を防ぐために、エネルギーの平均摂取量を推定エネルギー必要量(EER)付近になるように計画を立てる。
- (2) 栄養素の摂取不足を防ぐために、推奨量(RDA)を下回る者の割合をできるだけ少なくするように計画を立てる。
- (3) 栄養素の摂取不足を防ぐために、平均摂取量を目安量(AI)付近まで改善するように計画を立てる。
- (4) 栄養素の過剰摂取を防ぐために、平均摂取量が耐容上限量(UL)未満になるように計画を立てる。
- (5) 生活習慣病の一次予防のために、平均摂取量が目標量(DG)の範囲に入るように計画を立てる。

166 ある地域集団 1,500 人(30~49 歳、女性)に対して行った食事調査の結果から、カルシウム摂取量の分布を下表に示す。日本人の食事摂取基準(2010年版)を用いて推定した不足者の割合である。正しいのはどれか。1つ選べ。

ただし、30~49 歳、女性のカルシウムの推定平均必要量(EAR)は 550 mg/日、推奨量(RDA)は 650 mg/日である。

習慣的な 1 日あたりのカルシウム摂取量(30~49 歳、女性)

パーセンタイル	10	25	50	75	平均値
摂取量	287 mg	391 mg	556 mg	770 mg	610 mg

- (1) 10 % 未満
- (2) 10 % 以上 25 % 未満
- (3) 25 % 以上 50 % 未満
- (4) 50 % 以上 75 % 未満
- (5) 75 % 以上

167 社会調査法における他計調査と比較した自計調査の特徴に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調査員の影響を受けやすい。
- (2) 費用が高い。
- (3) 記入もれが少ない。
- (4) 質問の意味が誤解されにくい。
- (5) 回答者が特定されにくい。

168 公衆栄養プログラムの目標設定に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 目標は、プログラム計画の目的を数値化した指標が望ましい。
- (2) プログラム実施担当者には、目標の設定は不要である。
- (3) 対象地域での実態調査を行えなくても目標値の設定は可能である。
- (4) 改善可能性を考慮して目標値を設定する。
- (5) 理想値をそのまま目標値にすることができる。

169 第2次食育推進基本計画に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 学校給食法を根拠に策定された。
- (2) 厚生労働省により策定された。
- (3) 10年計画として示された。
- (4) ライフステージに応じた継続的な食育の推進が示された。
- (5) 生活習慣病の予防につながる食育の推進が示された。

170 特定健康診査・特定保健指導に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 実施主体は、都道府県である。
- (2) 対象は、40～65歳の医療被保険者である。
- (3) 情報提供は、特定保健指導対象者のみに行う。
- (4) 積極的支援対象者には、1～2か年の支援計画を立てる。
- (5) 医療保険のレセプトは、アウトカム評価に活用できる。

171 特定給食施設の設置者が理解すべき給食の目的である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 対象者の食事準備の負担軽減
- (2) 対象者の健康の増進
- (3) 給食従事者の経済的な負担軽減
- (4) 施設の食中毒の防止
- (5) 地域の食品産業への貢献

172 特定給食施設における管理栄養士の業務とその目的の組合せである。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 献立管理 ————— 計画的な生産管理を行う
- (2) 衛生管理 ————— 衛生上の危害の発生を防ぐ
- (3) 品質管理 ————— 調理従事者の嗜好にあわせた食事を提供する
- (4) 経営資源調整 ————— 食事の品質向上を図る
- (5) 栄養管理報告書の作成 ———— 栄養管理の実施を評価する

173 給食経営管理の考え方にはトータルシステムとサブシステムがある。トータルシステムとして、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食材をインプットし、料理としてアウトプットするシステム
- (2) 食材料費、人件費、水光熱費の調整システム
- (3) 生産から配食までのモニタリングシステム
- (4) 給食経営における各種管理業務の統合システム
- (5) 献立の計画、実施、評価、改善のマネジメントシステム

174 給食の種類とその制度上の位置づけの組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 保育所給食 ————— 医療
- (2) 学校給食 ————— 福祉
- (3) 事業所給食 ————— 教育
- (4) 障害者施設給食 ——— 自立支援
- (5) 病院給食 ————— 福利厚生

175 食事の提供業務を委託している病院が自ら実施しなければならない業務である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 献立表の作成
- (2) 献立表の確認
- (3) 作業計画書の作成
- (4) 食材の発注
- (5) 調理従事者の勤務表の作成

176 「学校給食実施基準(平成21年)」に基づく食事計画において、1日当たりの推奨量の3分の1を超える摂取量が期待される栄養素である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 鉄
- (2) ビタミンA
- (3) ビタミンB₁
- (4) ビタミンB₂
- (5) ビタミンC

177 給食経営における人的資源の活用に関する記述である。誤っているのはどれか。

1つ選べ。

- (1) 利用者が、栄養教育を受ける。
- (2) 経営者が、施設の経営方針を決定する。
- (3) 管理栄養士が、目標管理を行う。
- (4) 調理従事者が、衛生管理を行う。
- (5) 食品納入業者が、食材の情報を提供する。

178 事業所給食におけるマーケティングとその具体的な取組の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) マーチャンダイジング ——— イベントメニューの予告
- (2) マーケティングリサーチ ——— 流行メニューの把握
- (3) プロモーション戦略 ———— メニューの商品化計画
- (4) ポジショニング ———— 標的とする客層の選定
- (5) セグメンテーション ———— 利用者のクレーム情報分析

179 事業所給食における栄養・食事管理の計画に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 摂取量が推定平均必要量(EAR)未満の者の割合を求めるために、対象者の健康診断の結果を活用する。
- (2) 対象者の栄養に関する知識を知るために、生化学的検査を実施する。
- (3) 給与エネルギー目標量を検討するために、対象者のBMIの分布を把握する。
- (4) 食品構成を作るために、栄養管理報告書を作成する。
- (5) 献立作成基準を作るために、衛生管理マニュアルを作成する。

180 特定給食施設において、食事計画を立案する際に必要な情報である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 給食施設の経営理念
- (2) 給食施設の規模
- (3) 対象者の給食利用時間
- (4) 調理従事者の調理技術
- (5) 栄養指導員の巡回頻度

181 給食の品質評価の方法とその結果に基づく改善活動に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 検食記録簿を分析し、喫食者の栄養教育を計画する。
- (2) 残菜量を測定し、給食費の値上げを検討する。
- (3) 塩分濃度を測定し、節水対策を検討する。
- (4) 喫食者の満足度調査を実施し、調理従事者の技術訓練を計画する。
- (5) アクシデントレポートを分析し、保存食の保存期間を見直す。

182 損益分岐点分析に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 売上高線と固定費線の交点で示される。
- (2) 販売価格の設定に活用できる。
- (3) 損益分岐点が高い場合は、経営効率が良い。
- (4) 食材料費の抑制は、損益分岐点を高くする。
- (5) 調理従事者の人件費の抑制は、損益分岐点を高くする。

183 随意契約方式での購入が適する食品である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 総購入費が大きい米
- (2) 価格変動が大きい生野菜
- (3) 使用頻度が高い卵
- (4) 年間の使用量が多い調味料
- (5) 危機管理対策用の備蓄用食品

184 大量調理の調理特性に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 洗浄による付着水は、食品への味の浸透を促進する。
- (2) 食品の廃棄率は、使用機器によらず一定である。
- (3) フライヤーへの1回当たりの食材投入量は、食品の種類にかかわらず同じである。
- (4) 回転釜による煮物調理の材料に対する煮汁量の割合は、少量調理よりも小さい。
- (5) 和え物調理の本調味時間は、少量調理よりも長くする。

185 病院給食において中央配膳方式から病棟配膳方式に変更することの利点に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調理室と喫食場所の距離が短くなる。
- (2) 盛り付け作業人員を削減できる。
- (3) 調理時間を短縮できる。
- (4) 異物混入のリスクが低下する。
- (5) 適温供食が容易になる。

186 院外調理の工程と温度管理の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜の煮物の加熱 ————— 中心温度 65℃、1分以上
- (2) クラムチャウダーの加熱 —— 中心温度 75℃、1分以上
- (3) 豚汁の配送 ————— 配送時間中、50℃以上
- (4) 冷製サラダの配送 ————— 配送時間中、20℃以下
- (5) ビーフシチューの再加熱 —— 中心温度 75℃、1分以上

187 さんまの塩焼きの調理工程と、予測される危害及びそのモニタリング方法の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 検収 —— 細菌増殖 —— 品温測定
- (2) 保管 —— 異物混入 —— 室温点検
- (3) 洗浄 —— 細菌汚染 —— 金属検知
- (4) 調味 —— 二次汚染 —— 中心温度測定
- (5) 加熱 —— 細菌残存 —— 視覚点検

188 給食施設のドライシステム化により変化が予測される項目である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調理従事者の疲労度
- (2) 主調理室の湿度
- (3) 機器の保全費
- (4) 月間使用水量
- (5) 保存食の採取量

189 作業工程と厨房の作業区域の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 検収 —— 準清潔作業区域
- (2) 野菜下処理 —— 清潔作業区域
- (3) 加熱調理 —— 汚染作業区域
- (4) 盛り付け —— 清潔作業区域
- (5) 食器洗浄 —— 清潔作業区域

190 調理従事者の教育訓練の内容である。OJT(on-the-job training)として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 勤務終了後の新メニュー作成のための自主勉強会の開催
- (2) 保健所の主催する衛生管理講習会への参加
- (3) 厨房メーカー主催のモデル展示場における調理講習会での学習
- (4) 作業業務を伴う調理機器の取り扱い方法の習得
- (5) 休日を利用した有料の厨房機器展の見学

次の文を読み「191」、「192」に答えよ。

正常高値血圧の40～69歳の男性40名(降圧薬は服薬していない)を対象として、8週間の減塩教室を行った。教室開始前と終了後の血圧(収縮期血圧)を1回ずつ測定し、比較した。その結果、教室終了後の血圧が有意確率(危険率)5%で判断して、有意に低下した。

191 統計学的な解釈である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) この減塩教室後に血圧が低下したという結果が偶然である確率は、5%未満である。
- (2) 参加者のうち、38名は血圧が低下したが、2名は低下しなかった。
- (3) 参加者のうち、2名が降圧薬を必要とする状態となった。
- (4) 他の集団で、この教室で用いた減塩プログラムを行うと、血圧が5%低下すると予想される。
- (5) 他の集団で、この教室で用いた減塩プログラムを行うと、95%の確率で同じ結果が得られる。

192 この教室で用いた減塩プログラムの効果を、より適切に評価するための方策である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 減塩指導を行わない群を設定する。
- (2) ランダム化比較対照試験(RCT)を行う。
- (3) 途中で脱落した人を解析対象から除外する。
- (4) 教室開始前と終了後に行う血圧測定を1回から2回に増やす。
- (5) 複数の集団において同様のことを試す。

次の文を読み「193」、「194」に答えよ。

63歳、女性。週3回血液透析を受けている。身長158cm、ドライウエイト52kg（標準体重55kg）、血圧160/92mmHg、無尿、透析間体重増加量は中2日で3.0kg。透析前の血液検査では、血清クレアチニン値9.1mg/dL、血中尿素窒素値86mg/dL、血清カリウム値5.5mEq/L、血清リン値6.0mg/dLであった。

193 血液透析による血漿中からの物質の除去に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) カリウムは、カルシウムより除去されやすい。
- (2) 鉄は、リンより除去されやすい。
- (3) ビタミンAは、葉酸よりも除去されやすい。
- (4) 遊離脂肪酸は、アミノ酸より除去されやすい。
- (5) IgM(γ_1 マクログロブリン)は、 β_2 ミクログロブリンより除去されやすい。

194 食事指導時に目標とする栄養素量等である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質量 40g/日
- (2) リン量 1,200mg/日
- (3) カリウム量 1,400mg/日
- (4) 食塩量 10g/日
- (5) 飲水量 1,300mL/日

次の文を読み「195」、「196」に答えよ。

下表は、日本食品標準成分表 2010 からの抜粋である。

	廃棄率	エネルギー	ビタミン A					レチノール当量
			レチノール	α -カロテン	β -カロテン	β -クリプトキサンチン	β -カロテン当量	
%	kcal	μg	μg	μg	μg	μg	μg	
にんじん								
根、皮つき、生	3	37	0	2800	7700	0	9100	760
根、皮つき、ゆで	0	36	0	2700	7600	0	8900	740
根、皮むき、生	10	37	0	2500	6900	0	8200	680
根、皮むき、ゆで	0	39	0	2400	7500	0	8600	720

可食部 100 g 当たり

195 レチノール当量(μg)を求める式である。□に入る数字として正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

$$\begin{aligned} \text{レチノール当量}(\mu\text{g}) &= \text{レチノール}(\mu\text{g}) \times \boxed{a} \\ &\quad + \alpha\text{-カロテン}(\mu\text{g}) \times \boxed{b} \\ &\quad + \beta\text{-カロテン}(\mu\text{g}) \times \boxed{c} \\ &\quad + \beta\text{-クリプトキサンチン}(\mu\text{g}) \times \boxed{d} \end{aligned}$$

- | | a | b | c | d |
|-----|---------------|----------------|----------------|----------------|
| (1) | $\frac{1}{2}$ | $\frac{1}{6}$ | $\frac{1}{6}$ | $\frac{1}{12}$ |
| (2) | $\frac{1}{2}$ | $\frac{1}{6}$ | $\frac{1}{12}$ | $\frac{1}{24}$ |
| (3) | 1 | $\frac{1}{12}$ | $\frac{1}{24}$ | $\frac{1}{24}$ |
| (4) | 1 | $\frac{1}{24}$ | $\frac{1}{24}$ | $\frac{1}{12}$ |
| (5) | 1 | $\frac{1}{24}$ | $\frac{1}{12}$ | $\frac{1}{24}$ |

196 図はにんじんのグラッセ(にんじんの純使用量 50 g/食)の調理工程である。にんじんから摂取の期待できる1食当たりのビタミンA量を有効数字2桁で示した。正しいのはどれか。1つ選べ。

なお、調理による重量変化率は、にんじん皮つきゆで90%、にんじん皮むきゆで87%である。

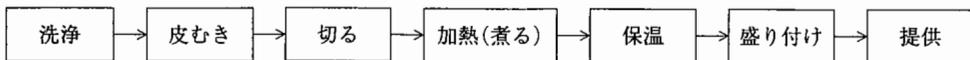


図 にんじんのグラッセの調理工程

- (1) 4,100 μg
- (2) 3,700 μg
- (3) 360 μg
- (4) 330 μg
- (5) 310 μg

次の文を読み「197」、「198」に答えよ。

37歳、男性。妻と子ども2人の4人家族。仕事が忙しく、帰宅はほぼ毎日夜11時過ぎ。朝はぎりぎりまで寝ていて、妻が子どもの分と一緒に朝食を準備しているが、欠食。家族と一緒に食事をする頻度は週末1回程度。子どもと接する時間があまりとれず、さびしく思っている。また、この10年間、体重が増加傾向にあり、現在BMI 24.8 kg/m²となり、気にしている。

会社の健康診断時に、管理栄養士が、「朝食欠食」をどう思っているかたずねたところ、「忙しくてすぐには無理だが、近いうちに改善したい」と答えたので、熟考期(関心期)にあることがわかった。

197 トランスセオレティカルモデル(行動変容段階モデル)に基づく、「朝食を食べること」の意思決定バランスに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 朝食を食べるには、朝早く起きなければならないので、大変だと思う。
- (2) 朝食を食べるために、夕食を軽めにする、減量もできるかもしれないと思う。
- (3) 朝食を食べるようになると、朝食時に子どもと話ができると思う。
- (4) 朝食を食べるようになると、妻も作りがいがあるだろうと思う。
- (5) 朝食を食べるには、働き方を工夫して、帰宅時間を少し早くしようと思う。

198 その後、朝食を食べるようになった男性の行動変容を継続するために行う支援

と、その技法や方法に関する組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 夕食の食べ過ぎを防ぐため、夜の宴会を減らすように勧める —— セルフモニタリング
- (2) 朝食を食べたかどうか、手帳に記録をつけるように勧める —— 刺激統制
- (3) 朝食を食べられない日があっても、翌日また頑張ろうと思えば良いと話す —— 認知再構成
- (4) 朝食を食べるようになって減量に成功した同僚の事例を、社内報で紹介する —— オペラント強化
- (5) 朝食用に手軽で食べやすい食品の販売を、社内売店で増やす —— 情報へのアクセス面の食環境整備

次の文を読み「199」、「200」に答えよ。

下表は、種々の経腸栄養剤の特徴を示したものである。

経腸栄養剤の種類	A	B	C	D	E
NPC/N比*	100	150	150	150	600
フィッシャー比	4	4	40	4	4
浸透圧(mOsm/L)	330	330	700	700	300

*NPC/N比：非たんぱく質エネルギー/窒素比

199 クロウン病(活動期)の栄養療法に適切な経腸栄養剤である。正しいのはどれか。

1つ選べ。

- (1) 経腸栄養剤 A
- (2) 経腸栄養剤 B
- (3) 経腸栄養剤 C
- (4) 経腸栄養剤 D
- (5) 経腸栄養剤 E

200 保存期慢性腎不全(CKD ステージ4)の栄養療法に適切な経腸栄養剤である。正

しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 経腸栄養剤 A
- (2) 経腸栄養剤 B
- (3) 経腸栄養剤 C
- (4) 経腸栄養剤 D
- (5) 経腸栄養剤 E

5月7日（月）午後2時解禁

照会先 厚生労働省健康局
がん対策・健康増進課
担当 河野、増田、田中
Tel 03-5253-1111 内線2972, 2973

第26回管理栄養士国家試験の合格発表について

平成24年3月18日（日）、東京都ほか計7地区において実施した第26回管理栄養士国家試験の合格者を平成24年5月7日（月）午後2時 厚生労働省、各国家試験担当において発表する。

なお、受験者数21,268名のうち合格者数は10,480名であり、合格率は49.3%である。

[配布資料一覧]

1. 第26回管理栄養士国家試験の結果について
2. 第26回管理栄養士国家試験正答

1. 第26回管理栄養士国家試験の結果について

平成24年3月18日 実施

平成24年5月7日合格発表

1) 合格基準

配点を1問1点とし、次の基準を満たす者を合格とする。

総合点120点(60%)以上の者

2) 合格状況

受験者21,268名 合格者10,480名 合格率49.3%

(参考) 年次別受験者数、合格者数、合格率

	平成22年 (第24回)	平成23年 (第25回)	平成23年 (第25回追加)
受験者数	25,047	19,923	1,562
合格者数	8,058	8,067	532
合格率	32.2%	40.5%	34.1%

3) 学校区分別合格者状況

	受験者数	合格者数	合格率
管理栄養士養成課程 (新卒)	7,946名	7,277名	91.6%
管理栄養士養成課程 (既卒)	2,445名	712名	29.1%
栄養士養成課程 (既卒)	10,877名	2,491名	22.9%

2. 第26回管理栄養士国家試験 正答

問番号	正答	問番号	正答	問番号	正答	問番号	正答
1	2	51	5	101	1	151	3
2	4	52	2	102	2	152	3
3	3	53	1	103	3	153	4
4	2	54	5	104	3	154	4
5	1	55	2	105	5	155	3
6	2	56	3	106	3	156	4
7	5	57	1	107	2	157	1
8	4	58	2	108	2	158	4
9	1	59	3	109	1	159	4
10	4かつ5	60	4	110	3	160	4
11	4	61	4	111	3	161	2
12	4	62	4	112	5	162	4
13	5	63	2	113	5	163	3
14	2	64	2	114	3	164	3かつ5
15	5	65	3	115	4	165	3
16	1	66	3	116	3	166	3
17	3	67	5	117	4	167	5
18	5	68	2	118	2	168	2
19	5	69	3	119	2	169	4かつ5
20	3	70	5	120	2かつ5	170	5
21	4	71	4	121	4	171	2
22	5	72	1	122	1	172	3
23	5	73	4	123	4	173	4
24	4	74	2	124	5	174	4
25	5	75	3	125	3	175	2
26	2	76	4	126	3	176	3かつ4
27	5	77	2	127	4	177	1
28	4	78	1かつ5	128	5	178	2
29	2	79	4	129	3	179	3
30	5	80	5	130	1	180	5
31	4	81	4	131	2	181	4
32	2	82	2	132	4	182	2
33	3	83	5	133	2	183	2
34	1	84	3	134	2	184	4
35	4	85	5	135	4	185	5
36	1	86	2	136	2	186	5
37	5	87	1	137	3	187	1
38	1	88	4	138	1	188	5
39	4	89	3	139	5	189	4
40	5	90	1	140	5	190	4
41	3	91	5	141	1	191	1
42	1	92	1かつ3	142	2	192	3
43	5	93	3	143	4	193	1
44	3かつ5	94	3	144	5	194	3
45	5	95	5	145	5	195	5
46	2かつ4	96	4	146	5	196	5
47	2	97	3	147	3かつ5	197	5
48	1	98	4	148	2	198	3
49	2	99	5	149	4	199	4
50	2	100	3	150	3	200	5